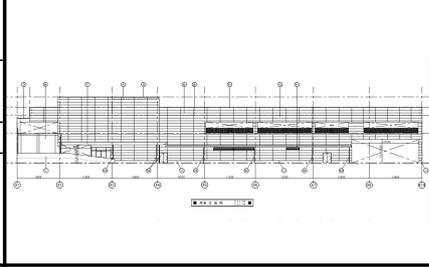


# CASBEE®-建築(新築)

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)三芳竹間沢商業施設 新築工事	階数	地上2F
建設地	埼玉県入間郡三芳町大字竹間沢38	構造	S造
用途地域	工業地域、法22条区域	平均居住人員	900 人
地域区分	6地域	年間使用時間	3,650 時間/年(想定値)
建物用途	物販店,工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年11月 予定	評価の実施日	2023年3月22日
敷地面積	9,549 m <sup>2</sup>	作成者	那須 護
建築面積	5,024 m <sup>2</sup>	確認日	2023年3月22日
延床面積	9,217 m <sup>2</sup>	確認者	那須 護



### 2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

**BEE = 1.0** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Q のスコア = 2.8

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.5

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.4

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.7

**LR 環境負荷低減性** LR のスコア = 3.2

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.8

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.4

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.5

3 設計上の配慮事項		その他
総合		
Q1 室内環境	全館禁煙とするなど空気質環境にも十分配慮している。	Q3 室外環境(敷地内) 特になし
Q2 サービス性能	天井高を高くするなど心理性・快適性に配慮している。	
LR1 エネルギー	LED照明を採用するなど設備システムの高効率化に配慮している。	LR3 敷地外環境 燃焼器具を採用せず、大気汚染の防止に配慮している。
LR2 資源・マテリアル	自動水栓や、擬音装置などの省水型機器を用いるなど水資源を保護している。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

**CASBEE-建築(新築)2016年版**  
**(仮称)三芳竹間沢商業施設 新築工事**

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版  
 ■評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
<b>Q 建築物の環境品質</b>									<b>2.8</b>
<b>Q1 室内環境</b>					<b>0.36</b>		-		<b>2.5</b>
<b>1 音環境</b>				<b>1.8</b>	0.15		-		<b>1.8</b>
1.1 室内騒音レベル				<b>3.0</b>	0.40		-		
1.2 遮音				<b>1.0</b>	0.40		-		
1 開口部遮音性能				<b>1.0</b>	1.00		-		
2 界壁遮音性能				-	-		-		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)							-		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)							-		
1.3 吸音				<b>1.0</b>	0.20		-		
<b>2 温熱環境</b>				<b>2.4</b>	0.35		-		<b>2.4</b>
2.1 室温制御				<b>3.2</b>	0.50		-		
1 室温		冬期25℃、夏期25℃の設備容量を確保している		<b>4.0</b>	0.45		-		
2 外皮性能				<b>2.0</b>	0.20		-		
3 ゾーン別制御性				<b>3.0</b>	0.35		-		
2.2 湿度制御				<b>1.0</b>	0.20		-		
2.3 空調方式				<b>2.0</b>	0.30		-		
<b>3 光・視環境</b>				<b>3.0</b>	0.25		-		<b>3.0</b>
3.1 昼光利用				<b>3.0</b>	0.51		-		
1 昼光率				-	-		-		
2 方位別開口							-		
3 昼光利用設備				<b>3.0</b>	1.00		-		
3.2 グレア対策				-	-		-		
1 昼光制御				-	-		-		
3.3 照度				-	-		-		
3.4 照明制御				<b>3.0</b>	0.49		-		
<b>4 空気質環境</b>				<b>2.9</b>	0.25		-		<b>2.9</b>
4.1 発生源対策				<b>3.0</b>	0.50		-		
1 化学汚染物質				<b>3.0</b>	1.00		-		
4.2 換気				<b>2.0</b>	0.30		-		
1 換気量				<b>3.0</b>	0.50		-		
2 自然換気性能				-	-		-		
3 取り入れ外気への配慮				<b>1.0</b>	0.50		-		
4.3 運用管理				<b>4.0</b>	0.20		-		
1 CO <sub>2</sub> の監視				<b>3.0</b>	0.50		-		
2 喫煙の制御		全館禁煙としている		<b>5.0</b>	0.50		-		
<b>Q2 サービス性能</b>				-	<b>0.30</b>		-		<b>3.4</b>
<b>1 機能性</b>				<b>3.5</b>	0.40		-		<b>3.5</b>
1.1 機能性・使いやすさ				<b>3.0</b>	0.40		-		
1 広さ・収納性				-	-		-		
2 高度情報通信設備対応				-	-		-		
3 バリアフリー計画				<b>3.0</b>	1.00		-		
1.2 心理性・快適性				<b>3.6</b>	0.30		-		
1 広さ感・景観		天井高2.9m以上		<b>5.0</b>	0.33		-		
2 リフレッシュスペース				<b>2.0</b>	0.33		-		
3 内装計画		売場内観バースを作成し検証を行っている 等		<b>4.0</b>	0.33		-		
1.3 維持管理				<b>4.0</b>	0.30		-		
1 維持管理に配慮した設計		内外装材共、防汚性に配慮している 等		<b>4.0</b>	0.50		-		
2 維持管理用機能の確保		専用の掃除用流しを設けている、ごみ置場を設けている 等		<b>4.0</b>	0.50		-		
<b>2 耐用性・信頼性</b>				<b>3.0</b>	0.30		-		<b>3.0</b>
2.1 耐震・免震・制震・制振				<b>3.0</b>	0.50		-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				<b>3.0</b>	0.80		-		
2 免震・制震・制振性能				<b>3.0</b>	0.20		-		
2.2 部品・部材の耐用年数				<b>3.2</b>	0.30		-		
1 躯体材料の耐用年数				<b>3.0</b>	0.20		-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				<b>2.0</b>	0.20		-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		天井:PB:30年、壁:PB:20年、床:タイル:65年		<b>5.0</b>	0.10		-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				<b>3.0</b>	0.10		-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		給水:塩ビ:B、給湯:塩ビライニング鋼管:C、汚水、雑排水:塩ビ:B、冷媒:鋼管:C、Eは不使用		<b>4.0</b>	0.20		-		
6 主要設備機器の更新必要間隔				<b>3.0</b>	0.20		-		
2.4 信頼性				<b>2.8</b>	0.20		-		
1 空調・換気設備				<b>3.0</b>	0.20		-		
2 給排水・衛生設備				<b>2.0</b>	0.20		-		
3 電気設備				<b>3.0</b>	0.20		-		
4 機械・配管支持方法				<b>3.0</b>	0.20		-		
5 通信・情報設備				<b>3.0</b>	0.20		-		

<b>3 対応性・更新性</b>			<b>3.7</b>	0.30	-	-	<b>3.7</b>
<b>3.1 空間のゆとり</b>			<b>5.0</b>	0.30	-	-	
1	階高のゆとり	階高3.9m以上	5.0	0.60	-	-	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率0.1未満	5.0	0.40	-	-	
<b>3.2 荷重のゆとり</b>			<b>3.0</b>	0.30	-	-	
<b>3.3 設備の更新性</b>			<b>3.4</b>	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性	ケーブルラック等により構造部材だけでなく、仕上げ材を痛めることなく電気配線の更新・修繕ができる	5.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性	配管配線等により構造部材だけでなく、仕上げ材を痛めることなく電気配線の更新・修繕ができる	5.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>			-	0.34	-	-	<b>2.7</b>
<b>1 生物環境の保全と創出</b>			<b>2.0</b>	0.30	-	-	<b>2.0</b>
<b>2 まちなみ・景観への配慮</b>			<b>3.0</b>	0.40	-	-	<b>3.0</b>
<b>3 地域性・アメニティへの配慮</b>			<b>3.0</b>	0.30	-	-	<b>3.0</b>
<b>3.1 地域性への配慮、快適性の向上</b>			<b>3.0</b>	0.50	-	-	
<b>3.2 敷地内温熱環境の向上</b>			<b>3.0</b>	0.50	-	-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>			-	-	-	-	<b>3.2</b>
<b>LR1 エネルギー</b>			-	0.40	-	-	<b>2.8</b>
<b>1 建物外皮の熱負荷抑制</b>			BPI <sub>m</sub> =0.92	<b>3.7</b>	0.20	-	<b>3.7</b>
<b>2 自然エネルギー利用</b>				<b>3.0</b>	0.10	-	<b>3.0</b>
<b>3 設備システムの高効率化</b>			[BEI][BEI <sub>m</sub> ] = 0.81	<b>2.9</b>	0.50	-	<b>2.9</b>
<b>4 効率的運用</b>				<b>2.0</b>	0.20	-	<b>2.0</b>
集合住宅以外の評価				<b>2.0</b>	1.00	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		1.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価				-	-	-	
4.1	モニタリング		-	-	-	-	
4.2	運用管理体制		-	-	-	-	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>			-	0.30	-	-	<b>3.4</b>
<b>1 水資源保護</b>			<b>3.4</b>	0.20	-	-	<b>3.4</b>
<b>1.1 節水</b>			自動水栓、節水型便器を採用している	<b>4.0</b>	0.40	-	
<b>1.2 雨水利用・雑排水等の利用</b>				<b>3.0</b>	0.60	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
<b>2 非再生性資源の使用量削減</b>			<b>3.3</b>	0.60	-	-	<b>3.3</b>
<b>2.1 材料使用量の削減</b>				3.0	0.10	-	
<b>2.2 既存建築躯体等の継続使用</b>				3.0	0.20	-	
<b>2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用</b>			-	3.0	0.20	-	
<b>2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用</b>			ビニル床材/腰壁	3.0	0.20	-	
<b>2.5 持続可能な森林から産出された木材</b>				2.0	0.10	-	
<b>2.6 部材の再利用可能性向上への取組み</b>			躯体+LGS+仕上とし、躯体と仕上材が容易に分別可能、取外し可能	5.0	0.20	-	
<b>3 汚染物質含有材料の使用回避</b>			<b>3.7</b>	0.20	-	-	<b>3.7</b>
<b>3.1 有害物質を含まない材料の使用</b>				<b>3.0</b>	0.30	-	
<b>3.2 フロン・ハロンの回避</b>				<b>4.0</b>	0.70	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)	発泡剤を用いた断熱材等を使用していない	5.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
<b>LR3 敷地外環境</b>			-	0.30	-	-	<b>3.5</b>
<b>1 地球温暖化への配慮</b>			ライフサイクルCO2排出率84%	<b>3.6</b>	0.33	-	<b>3.6</b>
<b>2 地域環境への配慮</b>				<b>3.6</b>	0.33	-	<b>3.6</b>
<b>2.1 大気汚染防止</b>			燃焼機器を使用していない	<b>5.0</b>	0.25	-	
<b>2.2 温熱環境悪化の改善</b>				<b>3.0</b>	0.50	-	
<b>2.3 地域インフラへの負荷抑制</b>				<b>3.7</b>	0.25	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	駐車スペース、荷捌き用駐車施設の確保、出入口への配慮 等	5.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制	ゴミの種類や量を推計し、ストックスペースを計画している 等	4.0	0.25	-	-	
<b>3 周辺環境への配慮</b>			<b>3.2</b>	0.33	-	-	<b>3.2</b>
<b>3.1 騒音・振動・悪臭の防止</b>				<b>3.0</b>	0.40	-	
1	騒音		3.0	0.50	-	-	
2	振動		3.0	0.50	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
<b>3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制</b>				<b>3.0</b>	0.40	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		-	-	-	-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
<b>3.3 光害の抑制</b>				<b>4.4</b>	0.20	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	配慮事項の過半を満たしている	5.0	0.70	-	-	
2	屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	

# CASBEE埼玉県

# 重点項目シート

■使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

## 1 建物概要

建物名称	(仮称)三芳竹間沢商業施設 新築	BEE	1.0	BEEランク	★★★
------	------------------	-----	-----	--------	-----

## 2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア		緑の保全・創出のスコア			
3.6	+	2.6	=	6.2	
重点項目の各スコアの合計点					
がんばろう 6.0未満 	良い 6.0以上 	非常によい 6.8以上 	すばらしい 8.0以上 		

## 3 重点項目についての環境配慮概要

<b>(1) ライフサイクルCO2の削減</b>		スコア平均	3.6
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	3.6
<配慮した内容を記述> ライフサイクルCO2排出率84%			
<b>(2) 緑の保全・創出</b>		スコア平均	2.6
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	2.0
Q3 室外環境(敷地内)	3. 2 敷地内温熱環境の向上	スコア	3.0
LR3 敷地外環境	2. 2 温熱環境悪化の改善	スコア	3.0
<配慮した内容を記述> 緑地を設けることにより良好な景観を形成している。			

:入力欄